

第51回日本創傷治癒学会について

国際医療福祉大学病院 外科
第51回日本創傷治癒学会 会長

吉田 昌

第51回日本創傷治癒学会は、現時点では、従来通りの「会場集合型」の学会を開催すべく準備を進めております。2021年11月26日(金)・27日(土)、ロイヤルホテル那須を予定しています。来場には不便なところではありますが、那須についてしまえば、「御用邸」を中心とした美しい地域を満喫していただけます。しかしながら、状況によりましてはリモートも併用したハイブリッド開催に切り替える予定です。

日本創傷治癒学会は、半世紀の歴史の中で、形成外科・看護学・消化器外科・基礎系教室・皮膚科・整形外科・内科など多くの専門領域にまたがる横断的学会として発展してきました。しかしながら、今、多くの専門領域にまたがる魅力的なテーマの発信がなければ、今後は、横断的学会としての存在意義が減少しかねないと考えております。

第51回日本創傷治癒学会のテーマを”BEYOND BORDERS”としました。研究開発活動には、多くの目に見えない”BORDERS”があります。職種、診療科、基礎と臨床、国境などです。本会がそのような全ての”BORDERS”を越えて進んで行く覚悟を表したものです。シンポジウムにおいて、複数の専門領域にまたがるテーマを評議員に募集しましたところ、近年のシンポジウム数の5倍の応募をいただきました。どのように多彩なご意見を反映してゆくか深慮を要する状況です。ご意見が反映できない場合には大変申し訳なく、あらかじめお詫び申し上げなければなりません。また、海外からも魅力的な演者を招聘し、学問的に親交を深めたいと考えております。海外



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会
2021.01
No.120

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail: info@jswh.com

URL : <http://www.jswh.com>

からの演者をご来場いただけるような状況であれば、学会終了の翌日(11月28日日曜日)に日光や大谷石地下採掘場跡を回って東京駅に到着するエクスカージョンも行う予定でいます。内外の創傷治癒研究者との交流の機会となるように願っております。

第51回日本創傷治癒学会が多くの参加者にとって、次の発展への礎となることを願っております。

第51回 日本創傷治癒学会 2021年11月26日(金)・27日(土) 開催予定

The 51st Annual Meeting of Japanese Society for Wound Healing
第51回 日本創傷治癒学会

会長
吉田 昌
国際医療福祉大学病院 外科

2021
11/26 金 **27** 土
fri sat

会場:ロイヤルホテル那須
〒325-0302 栃木県那須郡那須町高久内1419-2

BEYOND BORDERS

日光東照宮
エクスカージョン
(11/28日東京篇)

事務局
国際医療福祉大学病院 外科
〒329-2763 栃木県那須郡那須市井口537-3

運営準備室
日本コンベンションサービス株式会社
〒100-0013 東京都千代田区麹町1-4-2 大同生命ビル14階
TEL:03-3508-1214 FAX:03-3508-1302 E-mail:jswh51@convention.co.jp

<https://site2.convention.co.jp/jswh51/>

WRRに会員の論文が掲載されました

会員の論文が Wound Repair and Regeneration の Volume28 Issue No.5 に掲載されました。論文名、会員の著者は下記の通りです。

投稿規程に関しましては、Wiley Online Library の本ジャーナルホームページの機関誌概要下にある濃緑色のナビゲーションバーより、<CONTRIBUTE> ⇒ <Author Guidelines> と進んでいただくか、以下のURLへアクセスして入手してください。

<https://onlinelibrary.wiley.com/page/journal/1524475x/homepage/forauthors.html>

なお、投稿方法は、ホームページからのオンライン投稿（要ログイン）となっております。

“Protective effort of dimethyl fumarate for the development of pressure ulcers after cutaneous ischemia-reperfusion injury”, (*Wound Repair and Regeneration*, 28:5, P.600 - 608)

茂木 精一郎 先生 （群馬大学大学院医学系研究科 皮膚科学）



漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、
生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなうことなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。
そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。

 ツムラ

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】0120-329-970 【患者様・一般のお客様】0120-329-930
受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日は除く）

www.tsumura.co.jp

(2019年5月制作) RSCAB01-D